



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和4年6月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更いたしました。

お1人様、月1回のみのお受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日医認定産業医研修(令和4年6月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
5月9日(月)	10時～	6月6日(月)	14時～16時	産業保健と法～Q&Aで説く 新型コロナ労務と法/メンタルヘルスと法～	更新2
	10時30分～	6月13日(月)	14時～16時	衛生委員会の活用促進	更新2
	11時～	6月27日(月)	14時～16時	職場のメンタルヘルスにおける依存症	専門2
5月10日(火)	10時～	6月7日(火)	14時～16時	職場の感染症対策～新型コロナウィルス対策を中心に～	専門2
5月11日(水)	10時～	6月1日(水)	14時～16時	職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～	専門2
5月12日(木)	10時～	6月16日(木)	14時～16時	高ストレス者の面接指導マニュアルを活用した面接	専門2
	10時30分～	6月23日(木)	14時～16時	事例検討～産業医としてどう対応するか～	実地2
5月13日(金)	10時～	6月17日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
6月1日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 5月11日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了	職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～ 労災二次検診において、一部の対象者に認められる微量アルブミン尿の測定については、その病態や産業保健分野における活用法については十分に理解されているとはいえないのが現状です。本講演では、微量アルブミン尿が日本人の一般住民において明らかかな脳、心臓疾患発症リスクになることを示した我々の前向き研究の結果について解説します。また、微量アルブミン尿を抑制するための方策について教職員集団で検討した宮城過労死予防研究の最新の結果についてもご紹介します。労災二次検診においてなんとなく測定されている微量アルブミン尿の有効な活用法について理解が深められるものと期待します。	東北労災病院 治療就労両立 支援センター 予防医療部長 宗像正徳	生涯・ 専門2	24
6月6日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 5月9日(月) 10時～定員に 達し次第受付終了	産業保健と法～Q&Aで説く 新型コロナ労務と法/メンタルヘルスと法～ 前半では、新設された日本産業保健学会のプロジェクトチームが公表した、新型コロナに伴う労務問題にかかるQ&Aのエッセンスを解説します。後半では、メンタルヘルスの現場問題について、勤怠不良の従業員への対応、会社からの指定医の受診指示の可否、発達障害やパワハラに関するQ&Aについて解説します。	近畿大学教授 三柴文典	生涯・ 更新2	24

<p>6月7日(火)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 5月10日(火) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>職場の感染症対策～新型コロナウイルス対策を中心に～</p> <p>産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、現在流行中の新型コロナウイルス感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場や海外派遣労働者にリスクのある感染症対策の最新情報を解説します。</p>	<p>濱田 篤郎</p>	<p>生涯・ 専門2</p>	<p>24</p>
<p>6月13日(月)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 5月9日(月) 10時30分～ 定員に達し 次第受付終了</p>	<p>衛生委員会の活用促進</p> <p>現代の職場を取り巻く労働衛生の課題は多岐に渡ります。企業が、過労死対策やメンタル対策をはじめとする様々な対策に取り組んでいくためには、衛生委員会において、各対策の方針や具体的な展開について十分に調査審議することが必要です。昨年来の新型コロナウイルス感染症について、職場における対策をどうするか議論するのが正に衛生委員会であり、新型コロナウイルス感染症対策のように緊急の課題が発生した際に、衛生委員会が十分機能していなければ迅速かつ的確に対応できず、事業活動に大きな影響を与えかねません。この研修では、衛生委員会に関する法令や行政通達を解説した上で、衛生委員会の進め方や議題のありかたなど衛生委員会の機能を高めるためにはどうすれば良いかを考えていきます。</p>	<p>野村 みどり</p>	<p>生涯・ 更新2</p>	<p>24</p>
<p>6月16日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 5月12日(木) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>高ストレス者の面接指導マニュアルを活用した面接</p> <p>「医学的知見に基づくストレスチェック制度の高ストレス者に対する適切な面接指導実施のためのマニュアル」では産業医としての経験が必ずしも長くない方でも聞き落としなく高ストレス者面接ができるよう工夫して作成されています。このマニュアルの使い方を経験する機会を提供いたします。</p>	<p>森田 哲也</p>	<p>生涯・ 専門2</p>	<p>24</p>
<p>6月17日(金)</p> <p>13:30～16:30</p> <p>申込受付日時 5月13日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>作業環境測定方法</p> <p>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。</p>	<p>岩崎 毅 小嶋 純</p>	<p>生涯・ 実地3</p>	<p>16</p>
<p>6月23日(木)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 5月12日(木) 10時30分～ 定員に達し 次第受付終了</p>	<p>事例検討～産業医としてどう対応するか～</p> <p>職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、一緒に考えていきたいと思います。</p>	<p>内田 和彦</p>	<p>生涯・ 実地2</p>	<p>24</p>
<p>6月27日(月)</p> <p>14:00～16:00</p> <p>申込受付日時 5月9日(月) 11時～定員に 達し次第受付終了</p>	<p>職場のメンタルヘルスにおける依存症</p> <p>人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。</p>	<p>長尾 博司</p>	<p>生涯・ 専門2</p>	<p>24</p>

◆保健師・看護師研修◆

※単位等の取得はできません。

●保健師・看護師研修の申込受付開始は、すべて**5月16日(月)10時～**です。

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
6月2日(木) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座③ 「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「令和3年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。今回はその3回目で、心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等について解説します。本講座は令和3年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和3年に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。なお、「令和3年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	12
6月10日(金) 14:00～16:00	職場で起こる熱中症の症状と処置 その予防対策について かつて、夏の暑さや炎天下で具合が悪くなる状態は、「日射病」と呼ばれていました。しかし現在では必ずしも日光が関わる状況でなくても発症する恐れがあることから「熱中症」と呼ばれています。熱中症は炎天下での作業や運動などで発症しやすいことが知られていますが、室内で業務中に発生したり、高齢者が寝ている時に発症することもあります。熱中症は早期発見・早期処置が大切です。どのような症状になるかを知り、その予防方法についても考えていきたいと思います。 (研修の内容は前回開催(令和4年5月12日)と同内容です) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	労働衛生専門職 高橋 稔晃	単位なし	12
6月15日(水) 14:00～16:00	高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～ 職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	12
6月20日(月) 14:00～16:00	衛生委員会の活用促進 現代の職場を取り巻く労働衛生の課題は多岐に渡ります。企業が、過労死対策やメンタル対策をはじめとする様々な対策に取り組んでいくためには、衛生委員会において、各対策の方針や具体的な展開について十分に調査審議することが必要です。昨年来の新型コロナウイルス感染症について、職場における対策をどうするのか議論するのが正に衛生委員会であり、新型コロナウイルス感染症対策のように緊急の課題が発生した際に、衛生委員会が十分機能していなければ迅速かつ的確に対応できず、事業活動に大きな影響を与えかねません。この研修では、衛生委員会に関する法令や行政通達を解説した上で、衛生委員会の進め方や議題のありかたなど衛生委員会の機能を高めるためにはどうすれば良いかを考えていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	野村 みどり	単位なし	12
6月22日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回はテーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明致します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	10
6月28日(火) 14:00～16:00	産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編) 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	12

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

※単位等の取得はできません。

●人事・労務・衛生管理者研修の申込受付開始は、すべて**5月16日(月)10時～**です。

〈会場研修〉

研修日時	研修テーマ	講師	定員
6月2日(木) 14:00～16:00	労働安全衛生管理基礎講座③ 「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。本講座ではテキストに当センター発行「令和3年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。今回はその3回目です。心と身体の健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等について解説します。本講座は令和3年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和3年に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。なお、「令和3年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	12
6月10日(金) 14:00～16:00	職場で起こる熱中症の症状と処置 その予防対策について かつて、夏の暑さや炎天下で具合が悪くなる状態は、「日射病」と呼ばれていました。しかし現在では必ずしも日光が関わる状況でなくても発症する恐れがあることから「熱中症」と呼ばれています。熱中症は炎天下での作業や運動などで発症しやすいことが知られていますが、室内で業務中に発生したり、高齢者が寝ている時に発症することもあります。熱中症は早期発見・早期処置が大切です。どのような症状になるかを知り、その予防方法についても考えていきたいと思えます。 (研修の内容は前回開催(令和4年5月12日)と同内容です) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	労働衛生専門職 高橋 稔晃	12
6月15日(水) 14:00～16:00	高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～ 職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒・墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	12
6月20日(月) 14:00～16:00	衛生委員会の活用促進 現代の職場を取り巻く労働衛生の課題は多岐に渡ります。企業が、過労死対策やメンタル対策をはじめとする様々な対策に取り組んでいくためには、衛生委員会において、各対策の方針や具体的な展開について十分に調査審議することが必要です。昨年来の新型コロナウイルス感染症について、職場における対策をどうするのか議論するのが正に衛生委員会であり、新型コロナウイルス感染症対策のように緊急の課題が発生した際に、衛生委員会が十分機能していなければ迅速かつ的確に対応できず、事業活動に大きな影響を与えかねません。この研修では、衛生委員会に関する法令や行政通達を解説した上で、衛生委員会の進め方や議題のありかたなど衛生委員会の機能を高めるためにはどうすれば良いかを考えていきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	野村 みどり	12
6月22日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会および職場巡視の効果的運用と活性化について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回はテーマの法律面および現場の実務面について、スライドを用いて具体的な事例を説明致します。最後に短時間ですが質疑応答の時間を設けています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	14
6月28日(火) 14:00～16:00	産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編) 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	12